



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月3日

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社
 コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佃 維男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員 (氏名) 中野 守康

TEL 088-845-5511

四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,244	14.2	111	61.0	119	59.2	80	59.8
30年3月期第1四半期	2,614	7.0	284	23.1	292	23.1	200	22.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	14.47	
30年3月期第1四半期	36.04	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	8,851	4,725	53.4
30年3月期	9,057	4,852	53.6

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 4,725百万円 30年3月期 4,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		37.00	37.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		36.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当25円00銭
 平成31年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当24円00銭

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	10.8	390	33.2	400	33.1	276	32.5	49.65
通期	10,300	0.6	840	1.4	860	2.3	593	0.5	106.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	5,564,000 株	30年3月期	5,564,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	5,242 株	30年3月期	5,242 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	5,558,758 株	30年3月期1Q	5,558,786 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
3. その他	P. 7
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、資本財を中心に輸出が緩やかな回復を示し、また個人消費も底堅く推移し、総じて緩やかな回復基調にありました。

当第1四半期累計期間は、前年同四半期に比べ、売上高は減収となりました。前事業年度においては、秋口に控えたシャーシの一斉モデルチェンジを見据えた駆け込み需要があったこと及びシャーシの一斉モデルチェンジ後は、シャーシ納期の長期化により、製品納期が当第2四半期以降となるケースが増加したことが主な要因であります。

一方で、オリンピック需要や、全国的なインフラ整備事業に支えられ、当社製品に対する需要は引き続き堅調で、当第1四半期会計期間末における受注残高は、前事業年度末残高を上回り、第1四半期末残高としては過去にない水準となっております。

業績(数値)につきましては、前第1四半期累計期間に比べ受注高は225百万円増の2,896百万円(前年同四半期比8.4%増)、売上高は370百万円減の2,244百万円(前年同四半期比14.2%減)となりました。損益につきましては、営業利益は173百万円減の111百万円(前年同四半期比61.0%減)、経常利益は172百万円減の119百万円(前年同四半期比59.2%減)、四半期純利益は119百万円減の80百万円(前年同四半期比59.8%減)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ206百万円減少し、8,851百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加351百万円及びたな卸資産の増加203百万円はありましたが、売上債権の減少715百万円及び繰延税金資産の減少38百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ79百万円減少し、4,125百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加85百万円、預り金の増加77百万円、前受金の増加48百万円、未払配当金の増加30百万円及び未払消費税の増加30百万円はありましたが、引当金の減少207百万円及び未払法人税等の減少150百万円によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ126百万円減少し、4,725百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上80百万円はありましたが、剰余金の配当205百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年5月10日の平成30年3月期決算発表時の予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,271,744	2,623,462
受取手形及び売掛金	2,656,077	1,940,806
商品及び製品	461,842	497,802
仕掛品	943,187	1,086,254
原材料及び貯蔵品	243,062	267,634
その他	33,593	34,180
貸倒引当金	△1,328	△970
流動資産合計	6,608,180	6,449,170
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	543,144	534,382
土地	1,299,128	1,299,128
その他（純額）	207,624	212,836
有形固定資産合計	2,049,897	2,046,346
無形固定資産		
	30,242	26,050
投資その他の資産		
繰延税金資産	223,256	185,239
その他	148,377	146,411
貸倒引当金	△2,305	△2,005
投資その他の資産合計	369,328	329,646
固定資産合計	2,449,468	2,402,043
資産合計	9,057,648	8,851,214

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,189,969	3,275,754
未払法人税等	155,747	5,021
賞与引当金	280,000	114,585
役員賞与引当金	57,300	2,592
製品保証引当金	46,500	50,300
その他	267,134	459,440
流動負債合計	3,996,651	3,907,693
固定負債		
退職給付引当金	198,993	208,178
その他	9,470	9,470
固定負債合計	208,463	217,648
負債合計	4,205,114	4,125,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	4,179,028	4,053,810
自己株式	△1,875	△1,875
株主資本合計	4,846,874	4,721,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,659	4,216
評価・換算差額等合計	5,659	4,216
純資産合計	4,852,534	4,725,872
負債純資産合計	9,057,648	8,851,214

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,614,554	2,244,078
売上原価	1,942,571	1,772,102
売上総利益	671,983	471,975
販売費及び一般管理費	387,087	360,854
営業利益	284,895	111,121
営業外収益		
受取利息	8	36
受取賃貸料	4,512	4,372
未払配当金除斥益	1,640	2,521
その他	1,424	1,402
営業外収益合計	7,587	8,332
営業外費用		
為替差損	82	20
その他	1	1
営業外費用合計	83	22
経常利益	292,399	119,431
特別損失		
固定資産売却損	—	48
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	48
税引前四半期純利益	292,399	119,382
法人税、住民税及び事業税	37,521	826
法人税等調整額	54,528	38,101
法人税等合計	92,049	38,927
四半期純利益	200,349	80,455

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載しておりません。

当第1四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	1,596,186	△19.6
高压洗浄車	514,268	+25.5
粉粒体吸引・圧送車	16,000	+14.5
部品売上	236,608	+9.6
その他	113,777	△21.3
合計	2,476,841	△10.6

(注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	1,889,341	+5.7	3,613,510	+0.4
高压洗浄車	440,799	△16.1	823,629	+17.6
粉粒体吸引・圧送車	50,000	+122.2	149,500	+564.4
部品売上	236,608	+9.6	—	—
その他	279,924	+131.5	460,753	+104.5
合計	2,896,673	+8.4	5,047,392	+11.0

(注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	1,569,758	△9.8
高压洗浄車	385,232	△10.3
粉粒体吸引・圧送車	—	—
部品売上	236,608	+9.6
その他	52,479	△72.0
合計	2,244,078	△14.2

(注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。